



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月8日

上場会社名 株式会社 秀英予備校
 コード番号 4678 URL <https://www.shuei-yobiko.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 武

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 渡辺 喜代子 TEL 054-252-1792

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 10,715 | 0.2 | 453 | 17.3 | 461 | 15.9 | 43 | 85.5 |
| 2025年3月期 | 10,693 | 3.4 | 386 | 77.7 | 397 | 71.4 | 298 | |

(注) 包括利益 2026年3月期 288百万円 (23.0%) 2025年3月期 234百万円 (%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年3月期 | 6.45 | | 0.9 | 4.8 | 4.2 |
| 2025年3月期 | 44.42 | | 6.7 | 4.3 | 3.6 |

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 9,698 | 4,758 | 49.1 | 709.20 |
| 2025年3月期 | 9,427 | 4,536 | 48.1 | 676.17 |

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,758百万円 2025年3月期 4,536百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年3月期 | 658 | 204 | 242 | 1,463 |
| 2025年3月期 | 471 | 674 | 346 | 1,252 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年3月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | 67 | 22.5 | 1.5 |
| 2026年3月期 | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | 67 | 155.0 | 1.4 |
| 2027年3月期(予想) | | 0.00 | | 10.00 | 10.00 | | 14.9 | |

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,980 | 1.9 | 400 | | 395 | | 420 | | 62.59 |
| 通期 | 11,055 | 3.2 | 525 | 15.7 | 540 | 17.1 | 450 | 938.5 | 67.06 |

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年3月期 | 6,710,000 株 | 2025年3月期 | 6,710,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2026年3月期 | 319 株 | 2025年3月期 | 319 株 |
| 期中平均株式数 | 2026年3月期 | 6,709,681 株 | 2025年3月期 | 6,709,681 株 |

(参考)個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 10,065 | 0.5 | 442 | 24.3 | 477 | 21.1 | 60 | 79.8 |
| 2025年3月期 | 10,016 | 3.5 | 356 | 98.2 | 394 | 79.9 | 297 | |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 8.98 | |
| 2025年3月期 | 44.39 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 9,242 | 4,465 | 48.3 | 665.54 |
| 2025年3月期 | 9,175 | 4,472 | 48.7 | 666.56 |

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,465百万円 2025年3月期 4,472百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報等の注記) | 13 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 18 |

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのパレスチナ自治区ガザへの攻撃の長期化、さらにはアメリカ・イスラエルのイランへの攻撃により、世界的な石油不足・物価高となっております。また、国内におきましても消費者物価の著しい上昇により実質賃金が減少するところとなっております。国内消費は低迷しております。

当業界におきましては、少子化が一層進行しております。対象学年の拡大、サービスの多様化、受講単価の上昇により市場規模は横ばいを保っておりますが、市場の寡占化、企業の統廃合が進んでおります。

このような情勢のもと当社グループにおきましては、

- ① 自習室、面談室等も備えた学習効果が最大限期待できる快適な学習環境を提供すること
- ② 優秀な人材を採用し、効果的な研修によって高いレベルの学習・進学指導を中心とした教育サービスを提供すること
- ③ 当社の校舎展開は主に地方の中規模都市である。学力上位層から中下位層までの、それぞれのニーズに対応した教育サービス、教育メソッドを提供すること
- ④ 録画の映像授業だけでなく、ライブのオンライン授業をビジネスとして確立すること
- ⑤ 小学校入学前の幼児、小学校低学年を対象とした教育サービスを提供し、低学年からの生徒の“囲い込み”を進めていくこと

を経営の柱として取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高におきましては、小中学部では「全国公開実力テスト」をテコとした小学生低学年からの“囲い込み”を継続的に取り組み、高校部では多様なニーズを満たす教育サービスを提供してまいりました。その結果、前期末にて校舎の適正配置を図るため11校舎を閉鎖したものの、全体の売上は前年を上回るようになりました。

営業費用におきましては、「全国公開実力テスト」の受験者数増加による成績処理手数料の増加、校舎設備の大型修繕、空調入替等による保守修繕費用の増加があったものの、アルバイト講師の活用を推進したことによる労務費の削減、校舎移転・閉鎖に伴う地代家賃の減少及び発注数見直し・教材作成の内製化による教材費の削減により全体として減少するところとなりました。

営業外損益におきましては、大きな変動はありません。

特別損益におきましては、校舎の適正配置を図るためのスクラップ&ビルドを推進したことによる費用が多額に生じております。当連結会計年度におきましては、北海道、山梨県、宮城県の3つの拠点校について、賃貸借契約満了の機会を捉えて、賃借料負担を軽減しながら現校舎近辺の好立地な物件に移転の意思決定を行いました。これに伴い、現校舎における退去から契約満了までの非営業期間における賃借料を校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額として計上しております。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は10,715百万円（対前年同期比0.2%増）、営業利益は453百万円（対前年同期比17.3%増）、経常利益は461百万円（対前年同期比15.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は43百万円（対前年同期比85.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（小中学部）

小中学部におきましては、「全国公開実力テスト」の受験を通して小学生低学年からの入学を進めてまいりました。また、学童保育の展開も低学年からの生徒募集に寄与しております。結果として、小中学生の生徒数は前年を上回るようになっており、年間を通して実施している小4から中3生対象の模擬テストを今期から6月の1回分を減らしましたが、売上は前年並みを維持しております。また、ライブのオンライン授業も順調に生徒数、売上高が増加しております。営業費用につきましては、「全国公開実力テスト」の受験者数増加による問題作成費、成績処理手数料の増加があるものの、校舎移転・閉鎖に伴う地代家賃・水道光熱費の減少、労務費の削減及び教材作成費用の削減により、全体として前年を下回るようになっております。

その結果、小中学部の売上高は9,349百万円（対前年同期比0.0%減）、セグメント利益は1,107百万円（対前年同期比6.0%増）となりました。

（高校部）

高校部におきましては、正社員教師による集団の学力別授業、高校別クラスの授業を提供してまいりました。また、難関大学の学生講師による質問対応を兼ねた自習室「ASSIST」、正社員教師による高単価の「1：1個別指導」も提供し、多様なニーズに対応してまいりました。結果として、通常授業、各種講習会の顧客単価が高単価で推移できました。営業費用につきましては、校舎移転に伴う地代家賃・水道光熱費の減少により前年を下回るようになっております。

その結果、高校部の売上高は1,322百万円（対前年同期比2.0%増）、セグメント利益は120百万円（対前年同期比45.6%増）となりました。

（その他の教育事業）

その他の教育事業におきましては、FC部門の総生徒数が第3四半期まで前年を下回っていたことを要因として、売上高は前年を下回るようになっております。

その結果、その他の教育事業の売上高は43百万円（対前年同期比6.2%減）、セグメント利益は25百万円（対前年同期比13.2%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて162百万円増加し、2,022百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて110百万円増加し、7,672百万円となりました。これは主として、校舎移転に伴う敷金回収及び建設協力金回収による「敷金及び保証金」の減少があったものの、前払年金費用の増加に伴い「退職給付に係る資産」が増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて271百万円増加し、9,698百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27百万円増加し、1,813百万円となりました。これは主として、「短期借入金」の減少があったものの、拠点校舎のより好立地な物件への移転を決定したことにより「校舎移転・閉鎖損失引当金」が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22百万円増加し、3,126百万円となりました。これは主として、「長期借入金」等、有利子負債の減少があるものの、上記理由により1年超の「校舎移転・閉鎖損失引当金」の発生があったためであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて49百万円増加し、4,940百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて221百万円増加し、4,758百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.1%から49.1%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し、1,463百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは658百万円の収入（前年同期471百万円の収入）となりました。税金等調整前当期純利益は減少していますが、北海道、山梨県、宮城県の拠点校3校舎の移転による校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額の計上を主な要因として増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは204百万円の支出（前年同期674百万円の支出）となりました。これは主として、空調機入替に伴う固定資産の取得による支出が発生したためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは242百万円の支出（前年同期346百万円の収入）となりました。これは主として、短期借入金、長期借入金の返済および配当金の支払いが発生したためであります。

（4）今後の見通し

当業界におきましては、少子化が進行してきましたが、これまでは通塾率と顧客単価の上昇により市場規模は横ばいの1兆円弱を推移してまいりました。今後は、さらに少子化が加速して市場規模は縮小に転じ、市場の寡占化、企業の統廃合が進んでいくと考えておりますが、学習塾に対するニーズが無くなる訳ではありません。

当社は、こうした経営環境におきまして、企業としての存在価値を高めること、ブランドを確立することが最重要であると考えております。そのために、経営理念を基盤とした全社員の意識の共有化を図っております。また、幼児教育、学童保育など小学校低学年からの生徒の“囲い込み”に注力しております。

こうした状況において当社の年度経営計画は、売上高11,055百万円（対前年同期比3.2%増）、営業利益525百万円（対前年同期比15.7%増）、経常利益540百万円（対前年同期比17.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益450百万円（対前年同期比938.5%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,300,356 | 1,519,481 |
| 売掛金 | 155,711 | 135,923 |
| 商品 | 53,907 | 53,541 |
| 貯蔵品 | 14,371 | 14,492 |
| その他 | 339,138 | 304,296 |
| 貸倒引当金 | △3,124 | △4,767 |
| 流動資産合計 | 1,860,361 | 2,022,967 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 6,884,802 | 7,003,393 |
| 減価償却累計額 | △4,454,461 | △4,586,111 |
| 建物及び構築物（純額） | 2,430,340 | 2,417,281 |
| 機械装置及び運搬具 | 47,484 | 47,484 |
| 減価償却累計額 | △42,690 | △44,286 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,794 | 3,197 |
| 工具、器具及び備品 | 681,304 | 680,153 |
| 減価償却累計額 | △632,522 | △630,085 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 48,781 | 50,068 |
| 土地 | 3,223,597 | 3,223,597 |
| リース資産 | 70,697 | 72,729 |
| 減価償却累計額 | △41,498 | △46,396 |
| リース資産（純額） | 29,198 | 26,332 |
| 有形固定資産合計 | 5,736,712 | 5,720,477 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 18,189 | 16,412 |
| 無形固定資産合計 | 18,189 | 16,412 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1,497,317 | 1,419,978 |
| 退職給付に係る資産 | 244,123 | 467,985 |
| その他 | 70,350 | 51,949 |
| 貸倒引当金 | △4,178 | △3,815 |
| 投資その他の資産合計 | 1,807,614 | 1,936,097 |
| 固定資産合計 | 7,562,516 | 7,672,986 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 4,386 | 2,882 |
| 繰延資産合計 | 4,386 | 2,882 |
| 資産合計 | 9,427,264 | 9,698,836 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 216,000 | 136,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | 40,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 182,664 | 201,658 |
| リース債務 | 51,730 | 23,310 |
| 未払金 | 590,111 | 515,140 |
| 未払法人税等 | 97,970 | 141,731 |
| 未払消費税等 | 36,592 | 153,944 |
| 契約負債 | 18,975 | 15,024 |
| 賞与引当金 | 161,514 | 175,691 |
| 校舎移転・閉鎖損失引当金 | 97,061 | 184,767 |
| その他 | 293,932 | 226,486 |
| 流動負債合計 | 1,786,553 | 1,813,755 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 80,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 662,750 | 641,022 |
| リース債務 | 42,399 | 27,141 |
| 繰延税金負債 | 77,178 | 186,582 |
| 退職給付に係る負債 | 973,015 | 831,074 |
| 校舎移転・閉鎖損失引当金 | - | 126,277 |
| 資産除去債務 | 602,560 | 618,121 |
| 長期末払金 | 648,384 | 648,384 |
| その他 | 17,523 | 7,923 |
| 固定負債合計 | 3,103,811 | 3,126,527 |
| 負債合計 | 4,890,365 | 4,940,283 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,089,400 | 2,089,400 |
| 資本剰余金 | 1,835,655 | 1,835,655 |
| 利益剰余金 | 609,288 | 585,522 |
| 自己株式 | △154 | △154 |
| 株主資本合計 | 4,534,189 | 4,510,422 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,709 | 248,130 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,709 | 248,130 |
| 純資産合計 | 4,536,898 | 4,758,553 |
| 負債純資産合計 | 9,427,264 | 9,698,836 |

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日） |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 10,693,035 | 10,715,155 |
| 売上原価 | 8,883,911 | 8,794,344 |
| 売上総利益 | 1,809,123 | 1,920,811 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 627,157 | 643,904 |
| 貸倒引当金繰入額 | 2,984 | 3,137 |
| 役員報酬 | 186,632 | 199,783 |
| 給料及び手当 | 127,635 | 132,224 |
| 賞与 | 15,744 | 16,585 |
| 賞与引当金繰入額 | 7,417 | 8,867 |
| 退職給付費用 | 6,966 | 7,914 |
| 減価償却費 | 4,986 | 2,860 |
| その他 | 442,863 | 451,821 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,422,387 | 1,467,099 |
| 営業利益 | 386,736 | 453,711 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,901 | 6,022 |
| 受取配当金 | 2,228 | 1,998 |
| 受取賃貸料 | 17,703 | 15,265 |
| その他 | 13,763 | 9,030 |
| 営業外収益合計 | 39,596 | 32,316 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,511 | 18,022 |
| その他 | 14,920 | 6,890 |
| 営業外費用合計 | 28,431 | 24,913 |
| 経常利益 | 397,901 | 461,114 |
| 特別損失 | | |
| 校舎移転・閉鎖損失 | - | 9,881 |
| 校舎移転・閉鎖損失引当金繰入額 | 19,669 | 311,045 |
| 減損損失 | 17,820 | 4,495 |
| 特別損失合計 | 37,489 | 325,422 |
| 税金等調整前当期純利益 | 360,411 | 135,691 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 52,743 | 92,035 |
| 法人税等調整額 | 9,567 | 325 |
| 法人税等合計 | 62,310 | 92,361 |
| 当期純利益 | 298,101 | 43,330 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 298,101 | 43,330 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 298,101 | 43,330 |
| その他の包括利益 | | |
| 退職給付に係る調整額 | △63,313 | 245,421 |
| その他の包括利益合計 | △63,313 | 245,421 |
| 包括利益 | 234,787 | 288,751 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 234,787 | 288,751 |
| 非支配株主に係る包括利益 | - | - |

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|---------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,089,400 | 1,835,655 | 311,187 | △154 | 4,236,088 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 298,101 | | 298,101 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 298,101 | - | 298,101 |
| 当期末残高 | 2,089,400 | 1,835,655 | 609,288 | △154 | 4,534,189 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-----------|
| | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 66,022 | 66,022 | 4,302,110 |
| 当期変動額 | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 298,101 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △63,313 | △63,313 | △63,313 |
| 当期変動額合計 | △63,313 | △63,313 | 234,787 |
| 当期末残高 | 2,709 | 2,709 | 4,536,898 |

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|---------|------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 2,089,400 | 1,835,655 | 609,288 | △154 | 4,534,189 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △67,096 | | △67,096 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 43,330 | | 43,330 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | △23,766 | - | △23,766 |
| 当期末残高 | 2,089,400 | 1,835,655 | 585,522 | △154 | 4,510,422 |

| | その他の包括利益累計額 | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|---------------|-----------|
| | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 2,709 | 2,709 | 4,536,898 |
| 当期変動額 | | | |
| 剰余金の配当 | | | △67,096 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 43,330 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 245,421 | 245,421 | 245,421 |
| 当期変動額合計 | 245,421 | 245,421 | 221,654 |
| 当期末残高 | 248,130 | 248,130 | 4,758,553 |

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日） |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 360,411 | 135,691 |
| 減価償却費 | 178,458 | 212,446 |
| 減損損失 | 17,820 | 4,495 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △285 | 1,279 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △6,334 | 14,177 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 35,779 | △8,299 |
| 退職給付に係る資産の増減額（△は増加） | △20,000 | △3,003 |
| 校舎移転・閉鎖損失引当金の増減額（△は減少） | △2,000 | 213,983 |
| 受取利息及び受取配当金 | △8,129 | △8,020 |
| 支払利息及び社債利息 | 13,511 | 18,022 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △2,537 | 19,788 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 15,603 | 245 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 7,367 | △12,380 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △40,174 | 117,662 |
| 契約負債の増減額（△は減少） | 7,308 | △3,950 |
| 長期前払費用の増減額（△は増加） | 17,507 | 16,734 |
| その他 | △45,479 | 31,389 |
| 小計 | 528,826 | 750,262 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,717 | 4,215 |
| 利息の支払額 | △14,129 | △18,126 |
| 校舎移転・閉鎖に伴う支払額 | △25,430 | △24,856 |
| 法人税等の支払額 | △31,762 | △52,565 |
| 法人税等の還付額 | 11,167 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 471,389 | 658,930 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △55,804 | △64,262 |
| 定期預金の払戻による収入 | 48,603 | 57,008 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △700,190 | △235,533 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △77,970 | △67,817 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △16,598 | △7,635 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 134,698 | 120,512 |
| その他 | △7,100 | △6,803 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △674,363 | △204,530 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 900,000 | 478,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △874,000 | △558,000 |
| 長期借入れによる収入 | 650,000 | 210,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △218,140 | △212,734 |
| 社債の償還による支出 | △40,000 | △40,000 |
| リース債務の返済による支出 | △70,267 | △52,304 |
| 配当金の支払額 | △35 | △66,773 |
| その他 | △1,036 | △717 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 346,520 | △242,529 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 143,545 | 211,870 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,108,506 | 1,252,052 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,252,052 | 1,463,922 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会及び経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に全社的な統括を行う管理本部を置き、各事業本部において企画等を立案するとともに事業活動を展開しております。当社グループは学習指導を行うことを主たる業務として「小中学部」「高校部」「その他の教育事業」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「小中学部」は小学生から中学生を対象とした集団授業、小学生から高校生を対象とした個別指導、小学生から高校生を対象としたiD予備校での学習・進学指導及び各講習会の実施、幼児から小学生を対象とした学童保育等による教育サービスの提供を行っております。「高校部」は高校生及び高卒生を対象とし、集団授業、個別指導による学習・進学指導、各講習会の実施及び高校生対象のオンラインによる教育サービスの提供を行っております。「その他の教育事業」はFC開発事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づき、一般的取引条件と同様に決定しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | |
|------------------------|-----------|-----------|--------------|------------|
| | 小中学部 | 高校部 | その他の 教育事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 集団(黒板を使った集団授業) | 5,381,686 | 1,146,142 | — | 6,527,828 |
| i D(映像を使った個別授業) | 952,852 | — | — | 952,852 |
| 個別(講師による個別指導) | 2,998,171 | — | — | 2,998,171 |
| その他 | 18,354 | 149,456 | 46,370 | 214,182 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 9,351,065 | 1,295,599 | 46,370 | 10,693,035 |
| 外部顧客への売上高 | 9,351,065 | 1,295,599 | 46,370 | 10,693,035 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | 15,472 | 15,472 |
| 計 | 9,351,065 | 1,295,599 | 61,843 | 10,708,507 |
| セグメント利益 | 1,045,119 | 82,423 | 29,938 | 1,157,481 |
| セグメント資産 | 6,167,281 | 1,623,995 | 1,355 | 7,792,633 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 138,824 | 30,610 | 171 | 169,605 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 463,812 | 327,729 | — | 791,541 |

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | |
|------------------------|-----------|-----------|--------------|------------|
| | 小中学部 | 高校部 | その他の 教育事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 集団(黒板を使った集団授業) | 5,414,703 | 1,243,017 | — | 6,657,720 |
| iD(映像を使った個別授業) | 872,001 | — | — | 872,001 |
| 個別(講師による個別指導) | 3,044,815 | — | — | 3,044,815 |
| その他 | 18,085 | 79,038 | 43,493 | 140,617 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 9,349,605 | 1,322,056 | 43,493 | 10,715,155 |
| 外部顧客への売上高 | 9,349,605 | 1,322,056 | 43,493 | 10,715,155 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | 13,370 | 13,370 |
| 計 | 9,349,605 | 1,322,056 | 56,863 | 10,728,526 |
| セグメント利益 | 1,107,255 | 120,002 | 25,978 | 1,253,235 |
| セグメント資産 | 5,939,978 | 1,462,613 | 1,145 | 7,403,737 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 161,565 | 43,369 | 19 | 204,955 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 156,274 | 39,331 | 12 | 195,619 |

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------|------------|------------|
| 報告セグメント計 | 10,708,507 | 10,728,526 |
| セグメント間取引消去 | △15,472 | △13,370 |
| 連結財務諸表の売上高 | 10,693,035 | 10,715,155 |

(単位:千円)

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,157,481 | 1,253,235 |
| セグメント間取引消去 | 26,748 | 26,852 |
| 全社費用(注) | △797,493 | △826,376 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 386,736 | 453,711 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

| 資産 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 7,792,633 | 7,403,737 |
| 全社資産(注) | 1,634,630 | 2,295,099 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 9,427,264 | 9,698,836 |

(注) 全社資産は主に、報告セグメントに帰属しない余資運用資金(現金及び預金)、建物及び本社ソフトウェアであります。

(単位:千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | 調整額 | | 連結財務諸表計上額 | |
|--------------------|----------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
| 減価償却費 | 169,605 | 204,955 | 4,986 | 2,860 | 174,591 | 207,815 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 791,541 | 195,619 | — | 40 | 791,541 | 195,660 |

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社のソフトウェアの投資額であります。

【関連情報】

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | |
|------|---------|-----|----------|--------|
| | 小中学部 | 高校部 | その他の教育事業 | 計 |
| 減損損失 | 17,045 | — | 774 | 17,820 |

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | |
|------|---------|-----|----------|-------|
| | 小中学部 | 高校部 | その他の教育事業 | 計 |
| 減損損失 | 4,495 | — | — | 4,495 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

| | 前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日） |
|------------|--|---|
| 1株当たり純資産額 | 676円17銭 | 709円20銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 44円42銭 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 | 6円45銭 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。 |

1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日） |
|----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 298,101 | 43,330 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 298,101 | 43,330 |
| 普通株式の期中平均株式数(百株) | 67,096 | 67,096 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。